

27港第487号-2
平成27年9月29日

三池港港湾管理者 福岡県
代表者 福岡県知事 小川 洋 殿

福岡県地方港湾審議会
会長 小島 治幸



第33回福岡県地方港湾審議会について（答申）

このことについて、平成27年9月2日付け27港第411号-2で諮問がありました下記の事項については、原案のとおり承認します。

記

- 1 三池港港湾計画—軽易な変更—

三池港港湾計画書

— 軽易な変更 —

平成27年10月

三池港港湾管理者

福岡県

本計画書は、港湾法第三条の三の規定に基づき、

- ・平成11年 9月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成11年11月 港湾審議会第170回計画部会

の議を経、その後の変更については、

- ・平成15年 1月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成18年 6月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成18年11月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成20年11月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成21年 7月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成25年 8月 福岡県地方港湾審議会
- ・平成26年 7月 福岡県地方港湾審議会

の議を経た三池港の港湾計画の軽易な変更をするものである。

目 次

変更理由	1
港湾施設の規模及び配置	2
1 公共埠頭計画	2
2 専用埠頭計画	2
土地造成及び土地利用計画	3
1 土地利用計画	3
その他重要事項	4
1 その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項	4

変更理由

三池港は、日本の近代化を支えた「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の1つとして世界文化遺産に登録された。

歴史的・文化的な世界遺産としての価値を有する施設を適正に管理及び保全するため、船渠地区において、専用埠頭計画等を変更する。

世界文化遺産に登録されたことを受け、その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項を変更する。

港湾施設の規模及び配置

1 公共埠頭計画

船渠地区において、専用埠頭計画に位置づけられている埠頭の一部を、世界遺産としての価値を有する施設の適正な管理及び保全を行うため、公共埠頭として次のとおり計画する。

[公共埠頭計画]

船渠地区

水深8.5m 岸壁3バース 延長420m [既設の変更計画]

埠頭用地 3ha (荷捌き施設用地及び保管施設用地) [既設の変更計画]

2 専用埠頭計画

公共埠頭計画に合わせて、専用埠頭計画を次のとおり計画する。

[専用埠頭計画]

船渠地区

水深8.5m 岸壁1バース 延長114m (専用) [既設]

水深7.0m ドルフィン1バース (専用) [既設]

既設

水深8.5m 岸壁3バース 延長420m (専用) [既設]

水深8.5m 岸壁1バース 延長114m (専用) [既設]

水深7.0m ドルフィン1バース (専用) [既設]

土地造成及び土地利用計画

港湾施設の計画に対応するとともに、その周辺地域における既存の土地の利用状況を考慮し、土地利用計画を次のとおり計画する。

1 土地利用計画

用途 地区名	埠頭地	港湾 関連地	交流 厚生地	交通 機能地	緑地	合計
船渠地区	(3) 3	(10) 10	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(14) 14

注1) () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 今回の変更に係る地区のみ記述した。

注3) 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

その他重要事項

1 その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項

1-1 産業遺産の保全

三池港が有する日本の近代化を支えた歴史的・文化的な世界遺産としての価値を保全するため、その価値を構成する産業遺産の適切な保全に配慮しながら、港湾の開発及び利用に努める。

三池港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成27年10月

三池港港湾管理者

福岡県

目 次

1	変更理由	1
2	港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
2-1	公共埠頭計画	2
2-2	専用埠頭計画	3
3	土地造成及び土地利用計画に関する資料	4
3-1	土地利用計画	4
4	その他重要事項	5
4-1	その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項	5
5	環境保全に関する検討	5
6	地方港湾審議会名簿	6

1 変更理由

三池港は日本の近代化を支えた「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の1つとして世界文化遺産に登録された。

歴史的・文化的な世界遺産としての価値を有する施設を適正に管理及び保全するため、船渠地区において、専用埠頭計画等を変更する。

世界文化遺産に登録されたことを受け、その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項を変更する。

2 港湾施設の規模及び配置に関する資料

2-1 公共埠頭計画

(1) 概要

船渠地区において、専用埠頭計画に位置づけられている埠頭の一部を、歴史的・文化的な世界遺産としての価値を有する施設を適正に管理・保全するため、公共埠頭として次のとおり計画する。

(2) 公共埠頭の規模及び配置

今回計画する公共埠頭の規模及び配置は次のとおりである。

[公共埠頭計画]

船渠地区

水深8.5m 岸壁3バース 延長420m

[既設の変更計画]

埠頭用地 2.9ha (荷捌き施設用地及び保管施設用地)

[既設の変更計画]



図2-1-1 船渠地区 埠頭計画図 (変更前)



図2-1-2 船渠地区 埠頭計画図 (変更後)

2-2 専用埠頭計画

(1) 概要

公共埠頭計画に合わせて、専用埠頭計画を次のとおり計画する。

(2) 専用埠頭の規模及び配置

計画変更による専用埠頭の規模及び配置は次のとおりである。

[専用埠頭計画]

船渠地区

水深8.5m 岸壁1バース 延長114m (専用) [既設]

水深7.0m ドルフィン1バース (専用) [既設]

既設

水深8.5m 岸壁3バース 延長420m (専用)

水深8.5m 岸壁1バース 延長114m (専用)

水深7.0m ドルフィン1バース (専用)

3 土地造成及び土地利用計画に関する資料

港湾施設の計画に対応するとともに、その周辺地域における既存の土地の利用状況を考慮し、土地利用計画を次のとおり計画する。

3-1 土地利用計画

表3-1-1 土地利用計画(今回計画)

単位:ha

用途 地区名	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	交通機能用地	緑地	合計
船渠地区	(2.9)	(9.8)	(0.2)	(1.3)	(0.2)	(14.4)
	2.9	9.8	0.2	1.3	0.2	14.4

注1) () は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更に係る地区のみ記述した。

既定計画

単位:ha

用途 地区名	埠頭用地	港湾関連用地	交流厚生用地	交通機能用地	緑地	合計
船渠地区	()	(12.7)	(0.2)	(1.3)	(0.2)	(14.4)
		12.7	0.2	1.3	0.2	14.4

注1) () は港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2) 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とはならない。

注3) 今回の変更に係る地区のみ記述した。

4 その他重要事項

4-1 その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項

三池港は、築港当時から現在まで稼働を続ける港湾施設及び工場群等で形成される産業景観など、三池港が有する日本の近代化を支えた産業港としての歴史的な価値及び西洋文明のもたらした技術が見事に適用された文化的な価値が認められ、世界文化遺産に登録された。その世界遺産としての価値を構成する施設を適切に保全しながら、港湾の開発及び利用に努める。

5 環境保全に関する検討

今回の計画は、既設の専用埠頭のうち一部の埠頭を公共埠頭として計画するものであり、これに伴う環境負荷の増減はほとんど生じない。従って今回の計画が周辺環境へ及ぼす影響は軽微であると考えらる。

6 地方港湾審議会名簿

第33回福岡県地方港湾審議会 委員名簿

区 分		氏 名	役 職 名
(1)学識経験者	会 長	小島 治幸	九州共立大学名誉教授
	委 員	山田 真知子	福岡女子大学人間環境学部教授
	〃	橋本 典明	九州大学大学院工学研究院教授
	〃	大森 洋子	久留米工業大学建築・設備工学科教授
	〃	青木 美樹	九州国際大学国際関係学部教授
(2)港湾関係者	〃	原田 勝弘	九州地方海運組合連合会会長
	〃	野畑 昭彦	九州地方港運協会会長
	〃	高祖 健一郎	(社)西部海難防止協会会長
	〃	鶴丸 俊輔	(社)日本船主協会九州地区船主会議長
	〃	城野 隆行	福岡県倉庫協会会長
(3)福岡県議会議員	〃	川端 耕一	福岡県議会議員
	〃	大橋 克己	福岡県議会議員
(4)知事が必要と認める者	副会長	大谷 鮎子	特定非営利活動法人九州キラキラ みなとネットワーク理事長
(5)国の地方行政機関の職員	委 員	久保田 秀夫	国土交通省九州運輸局次長
	〃	船越 良行	第七管区海上保安本部長
	〃	鈴木 弘之	国土交通省九州地方整備局長
	〃	岸本 吉生	経済産業省九州経済産業局長
(6)福岡県職員	〃	家守 良明	福岡県企画・地域振興部長
	〃	境 正義	福岡県環境部長
	〃	小寺 均	福岡県農林水産部長
(7)臨時委員	〃	田中 秀子	福岡県議会議員
	〃	古賀 道雄	大牟田市市長
	〃	今福 研二	三池税関支署長
	〃	谷川 英徳	三池港物流株式会社代表取締役社長

